

石川県の市町



県鳥 (イヌワシ)



昭和40年1月1日指定

白山連峰に生息する日本最大級のワシで、翼を広げると2mにもなります。全体に黒っぽい茶色をしており、切り立った谷間の空をゆうゆうと飛んでいる姿は、貴族があり、その雄々しい姿と勇猛果敢な性質からは廣大・進取の気風が感じられます。

県内には30~40羽が住んでいると推定されますが、全国的に見ても300羽ぐらいしかいないことから、非常に貴重です。

県木 (アテ)



昭和41年10月1日指定

緑の環境づくりと愛樹思想の啓蒙を目的に県民から公募し、指定されました。能登地方に多く生息し、本県独特の造林樹種で家具、建築材や輪島漆器の木地にも多く使われています。「アテ」の名はヒノキアスナロの北陸での地方名です。

郷土の花 (クロユリ)



昭和29年3月19日決定

NHKにより、「郷土の花」として選ばれたものです。霊峰白山の弥陀が原、室堂平付近(標高2,300~2,500m)に多く自生しています。風雪に耐え、可憐に美しく咲くクロユリは、広く県民から親しまれています。